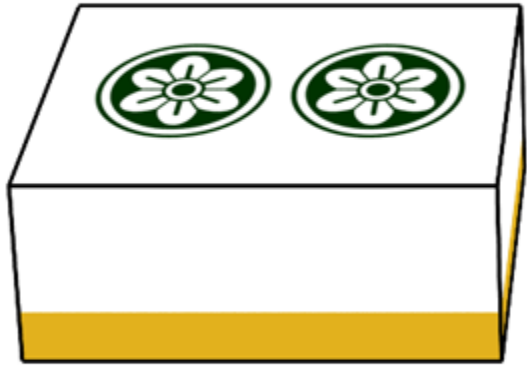


麻雀錯視

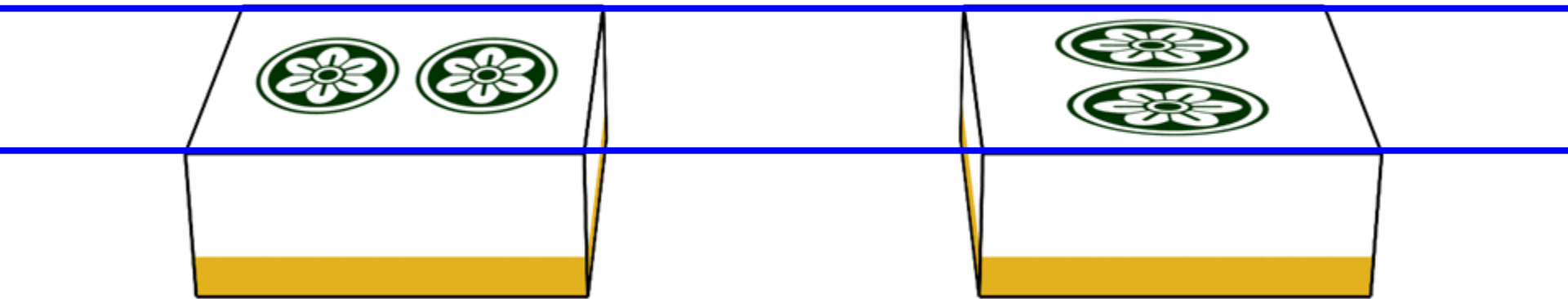
(表面テクスチャによる物体形状の錯視)

新美亮輔

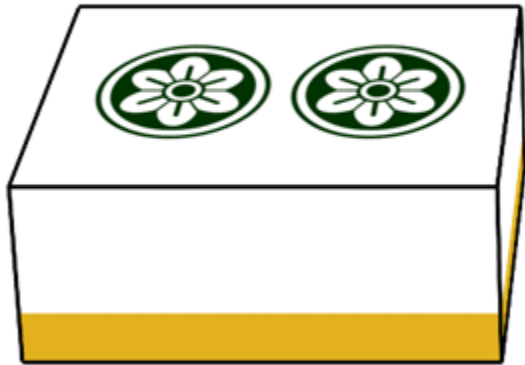
東京大学大学院人文社会系研究科



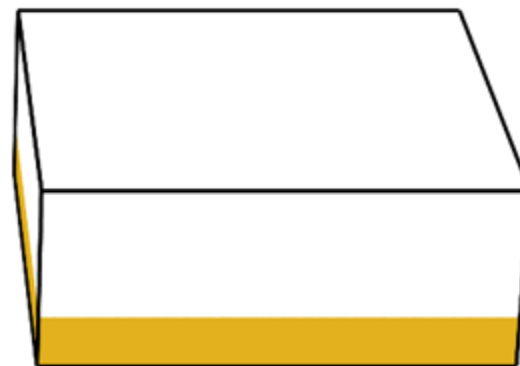
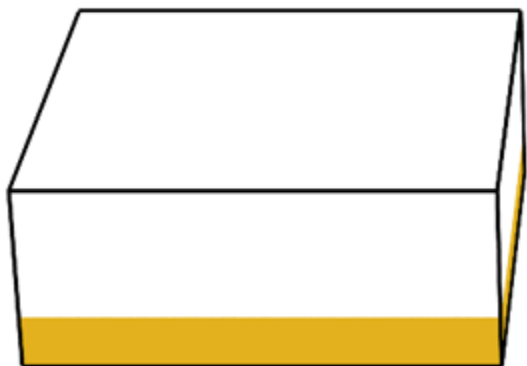
左の麻雀牌は、右の麻雀牌より横に細長く見えますが、



実際には、左右の牌の輪郭線は(鏡像になっていること以外は)
まったく同じ大きさ・形になっています



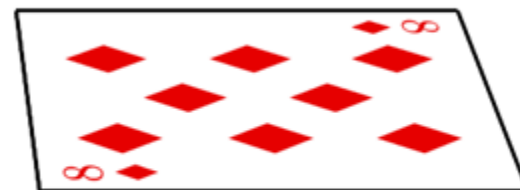
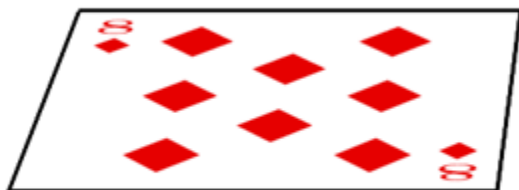
図柄の向きが違うために、錯視が起こります



図柄を消すと, 実際には同じ形であることがわかります



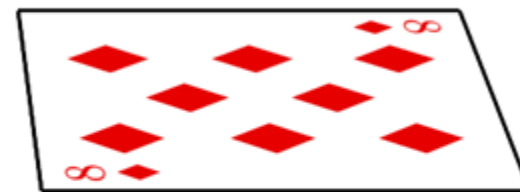
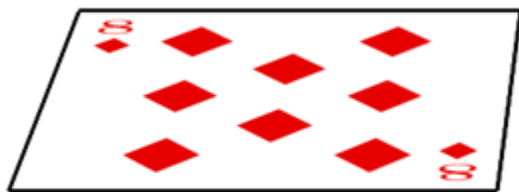
図柄の向きが同じだと、錯視は起きません



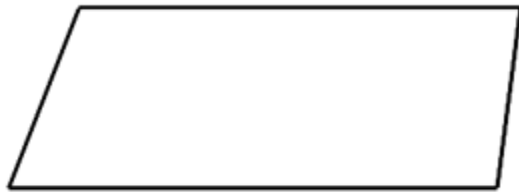
トランプでも同じことが起きます
右のカードは左のカードより横に細長く見えますが、



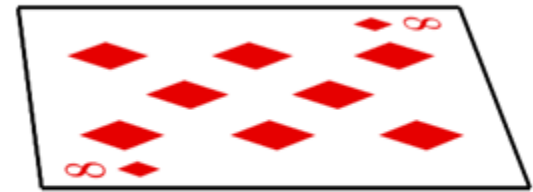
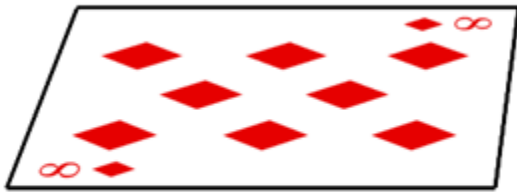
やはり, 実際には同じ大きさ・形です



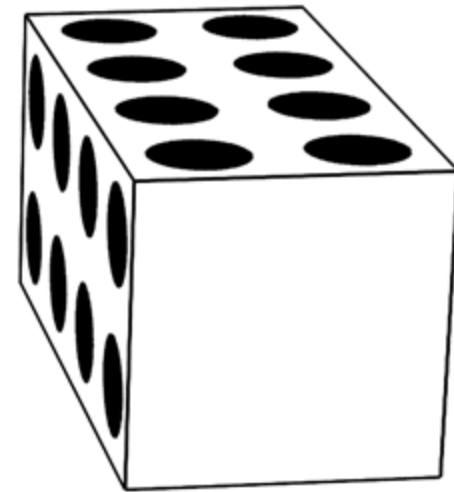
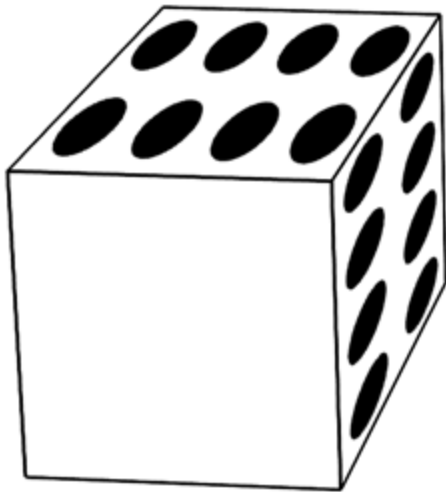
図柄の向きの違いのために錯視が起こります



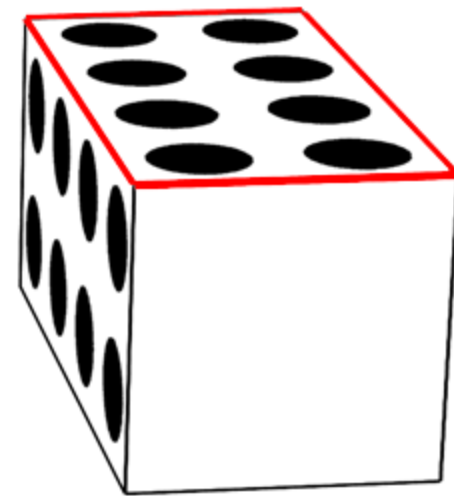
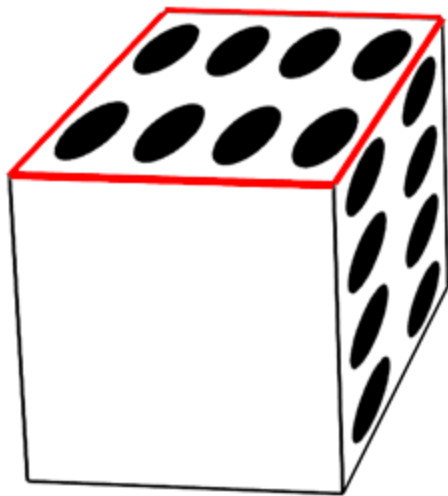
図柄を消すと, 実際には同じ形であることがわかります



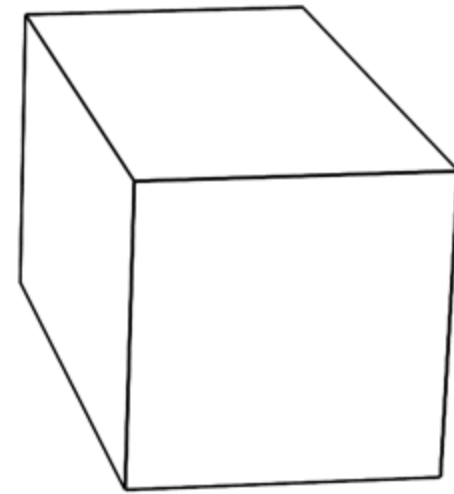
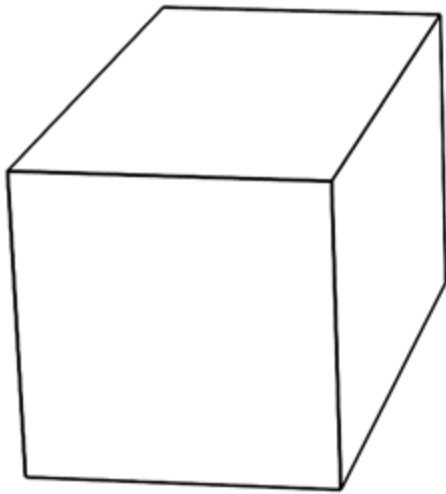
図柄の向きが同じだと、錯視は起きません



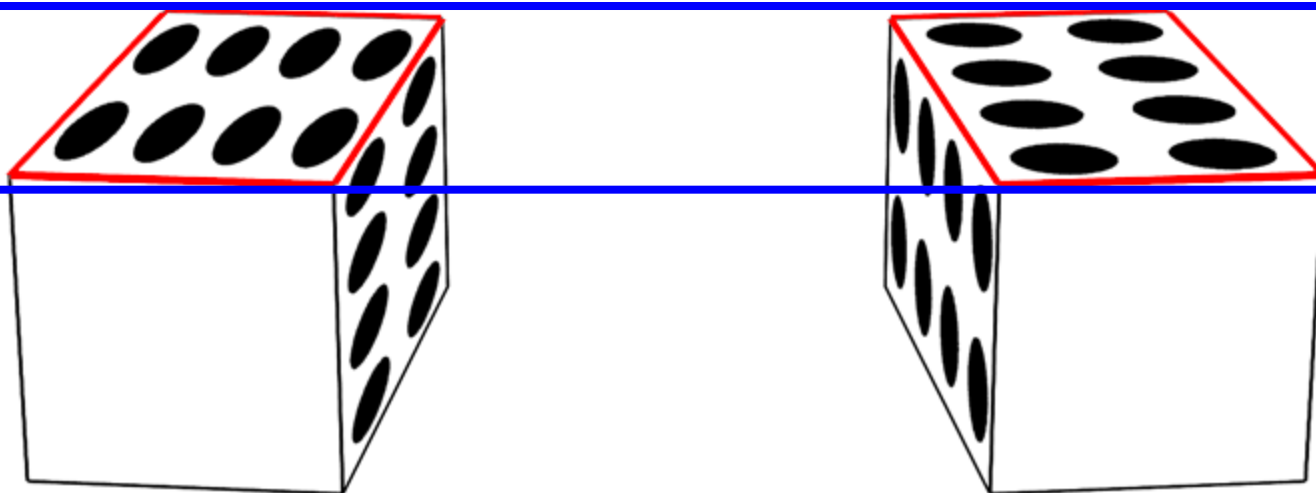
麻雀牌やトランプのような既知の物体でなくても
図柄を適切につければ同じことが起こります



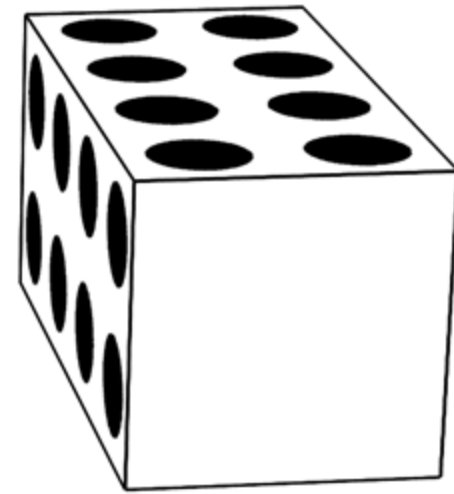
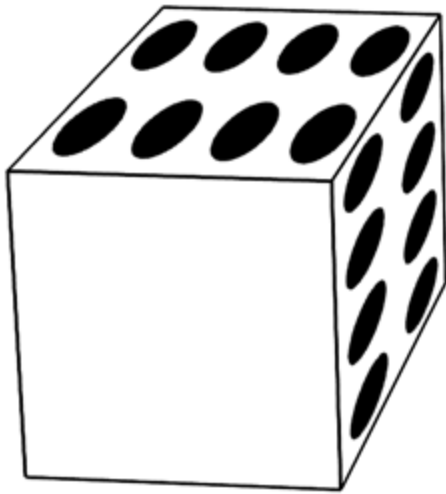
右の直方体の方が、奥へと細長く見えます
上面(赤枠の部分)の形も、左右で違って見えます



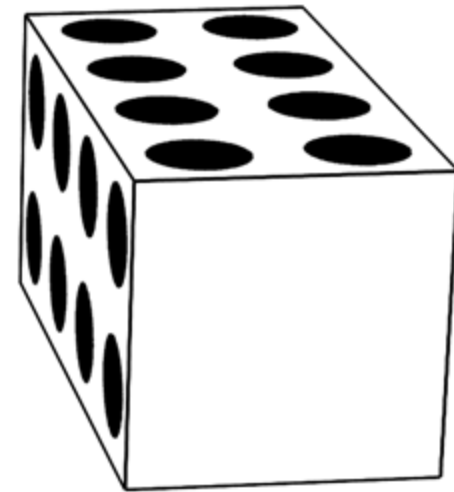
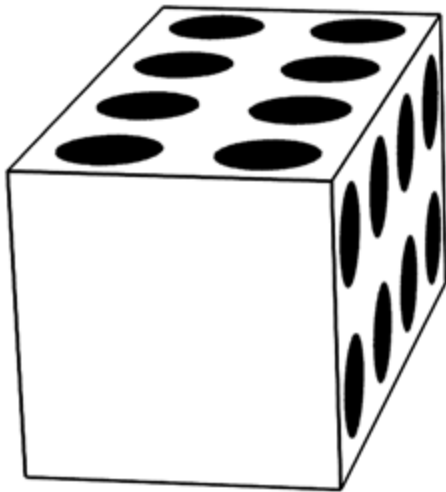
実際には、左右の直方体は(鏡像になっている
こと以外は)まったく同じ形・大きさです



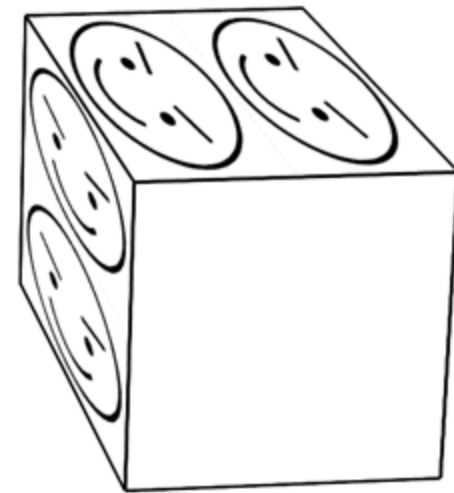
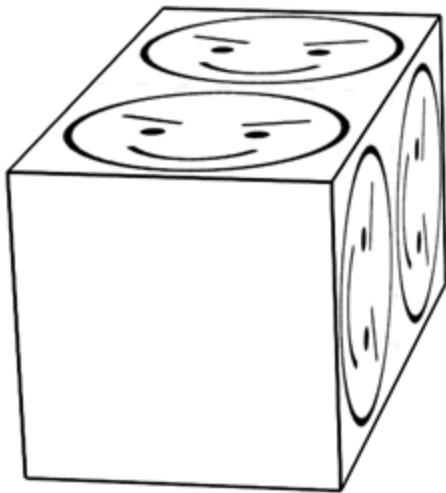
上面(赤枠)も, (鏡像になっていること
以外は)まったく同じ形・大きさです



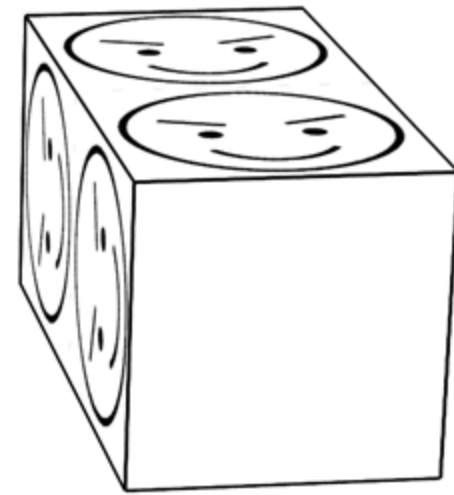
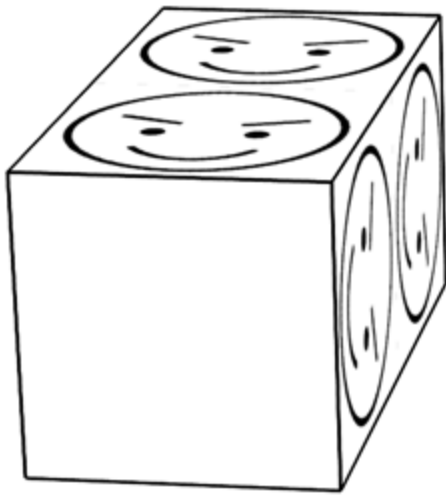
表面のテクスチャ(図柄, 模様)が与える奥行き感覚が左右で異なるために, 直方体の形が違って見えると考えられます



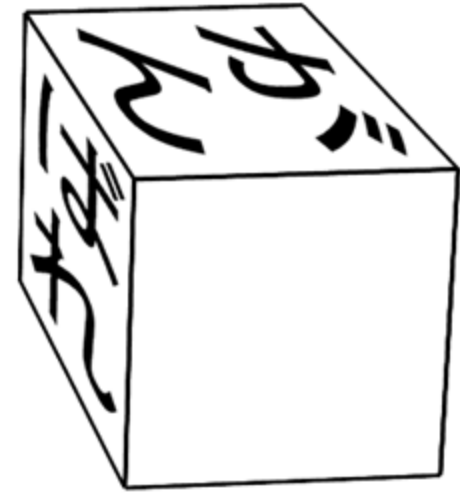
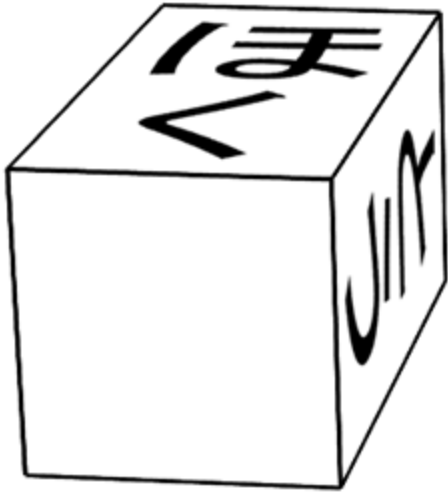
そのため、左右のテクスチャが同じだと、同じ直方体に見えます



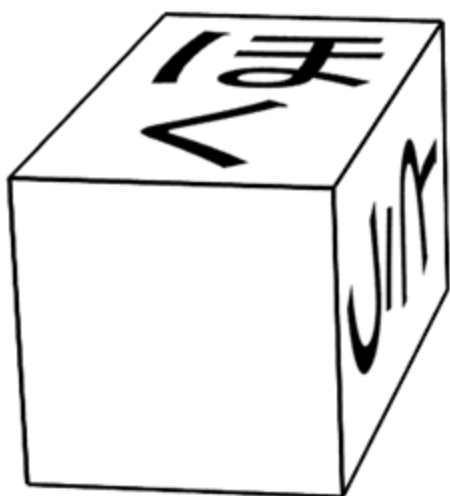
別のテクスチャでもOK
(今度は左が細長く見えます)



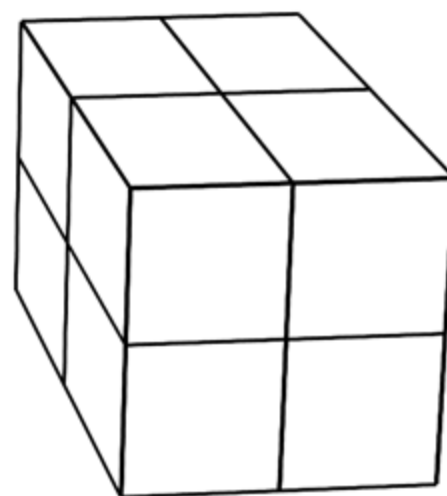
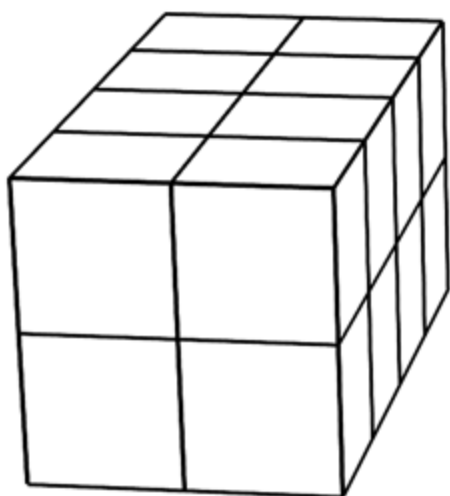
これだと同じ直方体に見えます



文字でもOK



これだと同じ直方体に見えます



こんなテクスチャでもOK
左は細長い直方体に, 右は立方体に見えます



こんなテクスチャでもOK
左は細長い直方体に, 右は立方体に見えます

おしまい